

道場遺跡現地説明会資料

－石器を使った人々の営み－

一般国道11号小松バイパス建設に伴う埋蔵文化財調査

公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター

～調査の概要～

一般国道11号小松バイパスの整備に伴い、西条市小松町新屋敷に所在する「道場遺跡」の発掘調査を実施しております。今年度の約8,000㎡を含め令和9年度までの3ヶ年で約22,000㎡の調査を予定しています。

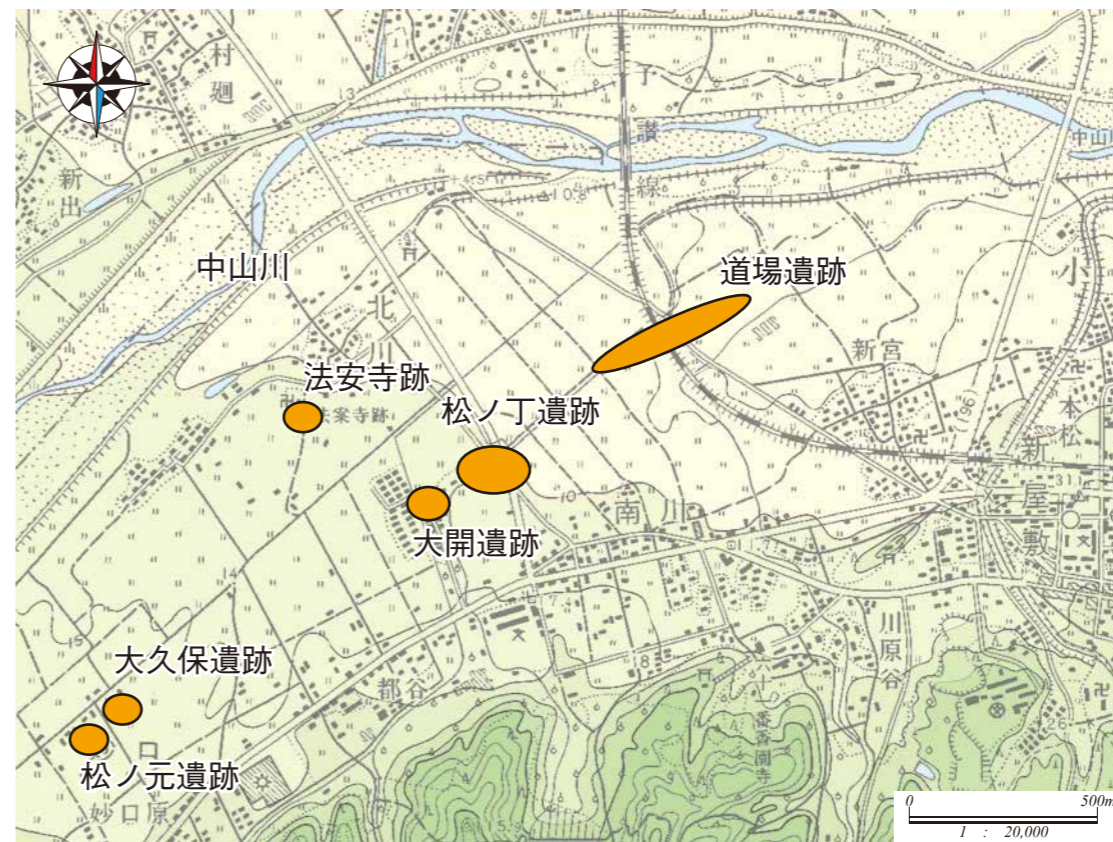
道場遺跡は弥生時代から中世までの複合遺跡で、現在調査を完了している調査区(1～3区)の主体となる時期は弥生時代前期末(紀元前200年頃)～中期初頭、古墳時代および古代であることがわかりました。特に弥生時代前期末～中期初頭(紀元前200年頃)では、数多くの遺構(堅穴建物・土坑ほか)・遺物が見つかりました。遺物について注目すべきは扁平片刃石斧、柱状片刃石斧、ノミ状石器などの加工斧が数多く出土したことです。中でも53号土坑出土のえぐり入柱状片刃石斧(石材:層灰岩)は北部九州由来と考えられ、搬入されてきたものです。この集落では木製品の加工を生業の一つとしてきたと思われます。今後、木製品が出土することを期待して調査を行っていきます。また、57号土坑から大陸由来の可能性のある鑄造鉄器が出土しました。

弥生時代中期の遺構である149・158号土坑などからは甕・壺などの日用品として使用する土器が見つかり、継続して集落が営まれていることが確認できました。

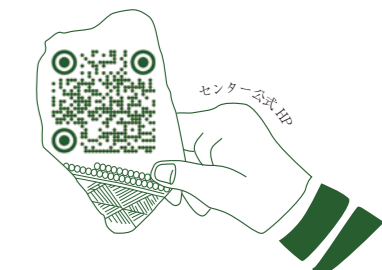
弥生時代後期は大型の堅穴建物が見つかりました。また、古墳時代はカマドを持つ堅穴建物が見つかりました。このように当時の人々の息遣いが感じられます。

古代は両側の側溝間隔が約3mある道路状遺構と、その道路状遺構に被さるように建てられた掘立柱建物などが見つかりました。道路状遺構は南西方向に約2.6km離れた松ノ元遺跡で発見された古代官道の可能性がある道路状遺構(幅約6m)に直交する方位で設置されています。

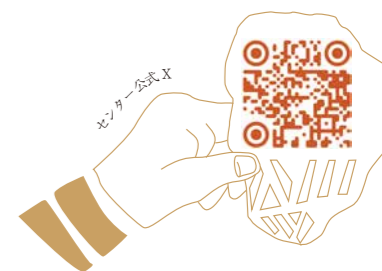
現在調査中の5区は主体となる時期が中世(13～14世紀)に変化しており、時代が下るほどに東に生活圏が広がっていることが見えてきました。



道場遺跡と周辺の遺跡位置図



報告書作成作業の続報や他の遺跡など気になる方はこちら



センターのリアルタイムな仕事の様子やイベントについて知りたい方はこちら

道場遺跡の該当年代

縄文時代	弥生時代	古墳時代	古代	中世	近世
BC13000	BC400	230	593 飛鳥時代 710 奈良時代 794 平安時代	1185 鎌倉時代 1336 室町時代 戦国時代	1603 江戸時代
		卑弥呼 倭の五王	聖徳太子 推古天皇 桓武天皇 鑑真	紫式部・藤原道長 平清盛 源頼朝 一遍(河野氏出身・時宗開祖) 北条時宗・河野通有(伊予) 楠木正成・新田義貞 足利尊氏 一休宗純 細川勝元・山名宗全 織田信長・豊臣秀吉 徳川家康・毛利元就	

用語説明

- 遺跡: 過去の人々が活動した痕跡で遺構と遺物を複合したもの
- 遺構: 過去の人々が遺した不動性の痕跡や施設(堅穴建物など)
- 遺物: 過去の人々が遺した可動性のもの(土器・石器など)
- 鑄造: 鉄を熱して溶かしたものを型に流し込んで製造したもの

参考文献

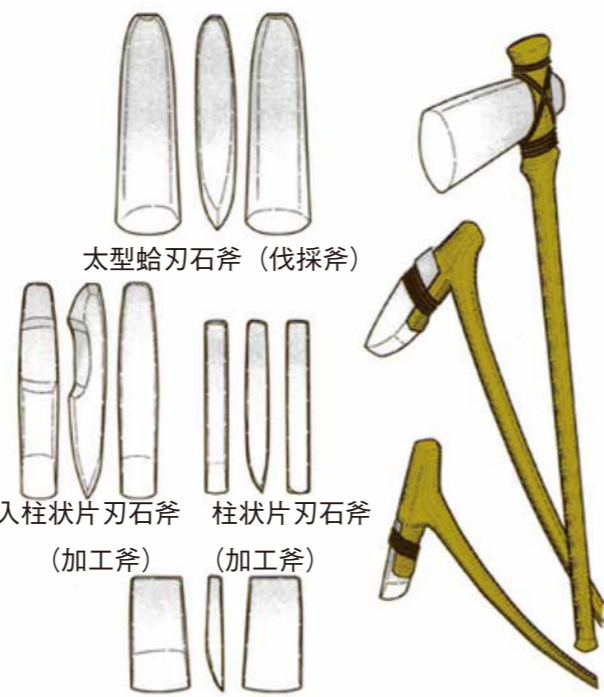
・財団法人愛媛県埋蔵文化財センター 2001『松ノ元遺跡—一般国道196号今治小松道路埋蔵文化財調査報告書 第1集—』



大陸由来の鑄造鉄器の可能性
57号土坑出土鉄器



53号土坑出土
えぐり入柱状片刃石斧



大型蛤刃石斧(伐採斧)
えぐり入柱状片刃石斧(加工斧)
柱状片刃石斧(加工斧)
扁平片刃石斧(加工斧)

石斧使用イメージ図
*NPO法人 守山弥生遺跡研究会 HP より引用



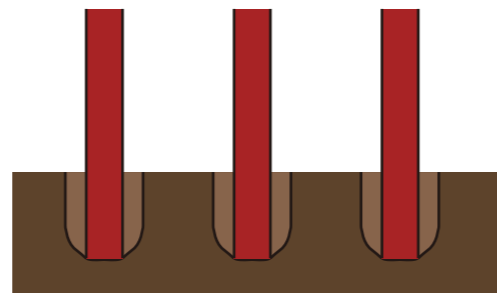
92号土坑出土
小型伐採斧



121号土坑出土
扁平片刃石斧



3号掘立柱建物 (古代末)

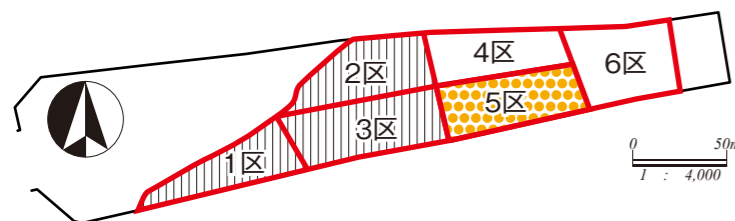


掘立柱建物模式図



掘立柱建物

地面に柱穴を掘り、掘った穴の中に柱の根元を入れ、その周りの隙間を埋めて柱を固定した建物です。柱穴の直径は60cm~90cm前後を測り、大きな建物であったと考えられます。道場遺跡では古代末と中世の掘立柱建物を検出しました。



11号掘立柱建物 (古代末)

18号土坑

29号土坑

488号小穴
189号小穴

45号土坑

461号小穴 112号土坑

92号土坑

121号土坑

189号土坑

24号小穴
176号土坑

53号土坑

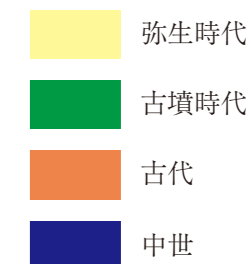
57号土坑

35号土坑

509号小穴

505号小穴

3号溝



竪穴建物

左の写真のものは壁際の床面が一段高くなっている構造をしています(ベッド状遺構)。道場遺跡では弥生時代前期末~古代までの竪穴建物を検出しました。



3号竪穴建物 (弥生時代後期後半)



18号竪穴建物 (古墳時代後期)

